

平成 27 年 12 月期
第 1 四半期 決算説明資料

平成 27 年 5 月 7 日

ダンロップスポーツ株式会社

(本資料の金額表記は、億円未満を四捨五入しております)

連結損益の概要

ダンロップスポーツ株式会社

ウェルネスで増収、「ゼクシオ エイト」2年目と円安の影響で減益

(単位:億円)
※億円未満四捨五入

	2015年 1-3月	対前年	2014年 1-3月
		金額	率
売上高	171	+14 (+9%)	157
営業利益 (率)	△5 (△2.8%)	△8 (-)	3 (2.0%)
経常利益 (率)	△3 (△1.9%)	△7 (-)	4 (2.4%)
純利益 (率)	△8 (△4.7%)	△7 (-)	△1 (△0.6%)

	対前年
国内ゴルフ用品市況	94%
国内テニス用品市況	102%
米国ゴルフ用品市況	103%

■売上高

「ゼクシオエイト」は好調な販売を継続しているものの前年には及ばず、ゴルフクラブは減収となった。一方、ゴルフボール、テニス用品は増収、また、ウェルネス事業が加わったことで全体では増収となった。

■営業利益

ゴルフクラブの減収を主とする量・構成の変化及び円安による仕入コスト高が大きく影響し、減益となった。



<1>



製品別売上高

ダンロップスポーツ株式会社

ゴルフボールは国内・海外とも好調、ゴルフクラブは減収

(単位:億円)

	2015年 1-3月	対前年		為替影響 除く
		金額	率	
ゴルフクラブ	80	△5	△6%	△9
ゴルフボール	38	+6	+19%	+4
用品その他	15	△4	△20%	△4
ゴルフ用品	133	△3	△2%	△9
テニス用品	14	+0	+2%	△0
ライセンス収入	1	△0	△6%	△0
スポーツ用品	148	△3	△2%	△10
サービス	3	+1	+28%	+1
ウェルネス	20	+16	+491%	+16
合計	171	+14	+9%	+7

	日本	海外 (為替除く)
ゴルフクラブ	△4	△6
ゴルフボール	+2	+2
用品その他	△4	△0
合計	△5	△4

※億円未満四捨五入、±0.5億円未満はゼロ表示



<2>



日本で増収、北米・アジアは微減

(単位:億円)	2015年 1-3月	対前年 増減	為替影響 除く
日本	100	+10	+10
北米	20	+0	△3
欧州	14	+2	+0
アジア	30	+2	△1
豪州・南ア他	6	+1	+0
海外売上高	70	+4	△3
海外売上高 比率	41.2%	△1.1P	△3.6P
連結売上高	171	+14	+7

■日本

「ゼクシオ エイト」発売2年目の影響でゴルフクラブが減収となるものの、ゴルフボールの新製品が好調、増収となった。また、新たに加わったウェルネス事業が増収に大きく寄与した。

■北米

CGゴルフクラブの減収が大きく響いたが、ゴルフボールは順調に売上を伸ばした。

■アジア

アジアでも人気の高い「ゼクシオ エイト」であるが、発売2年目の影響でゴルフクラブを中心に減収となった。

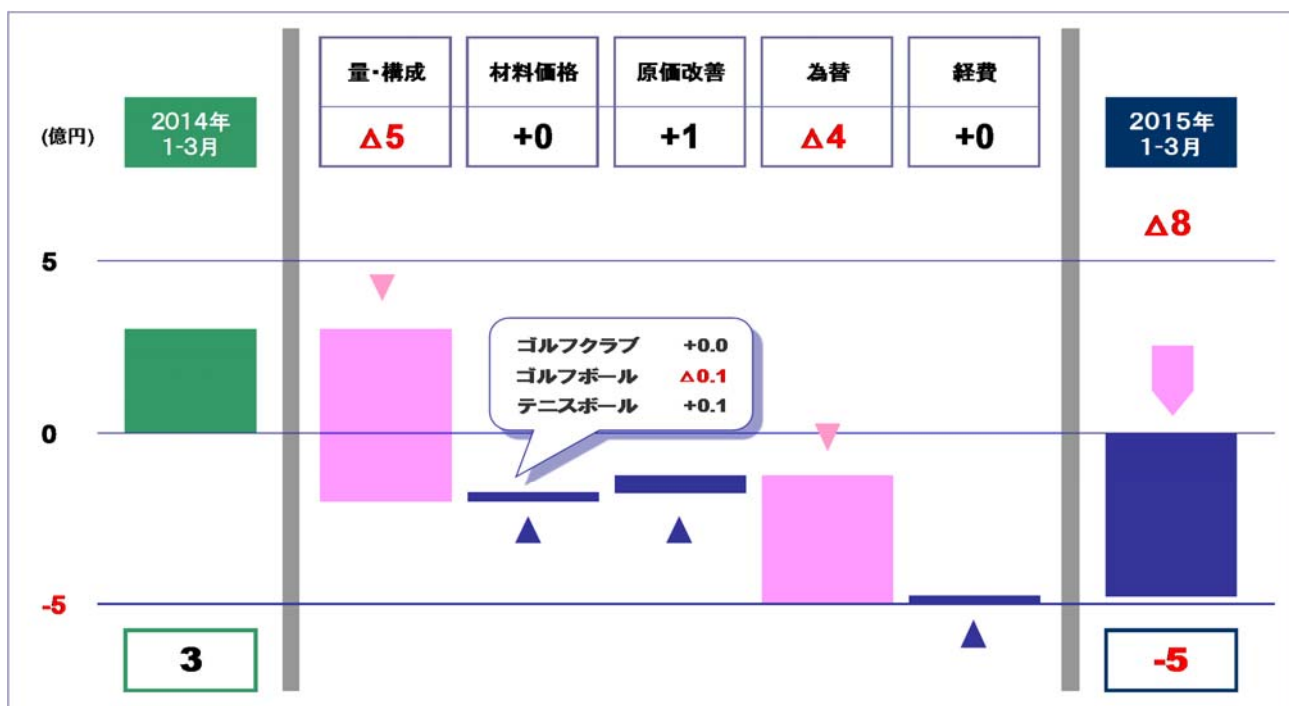
【為替レート】

単位:円	差異	2015年	2014年
\$	+16.4	119.2	102.8

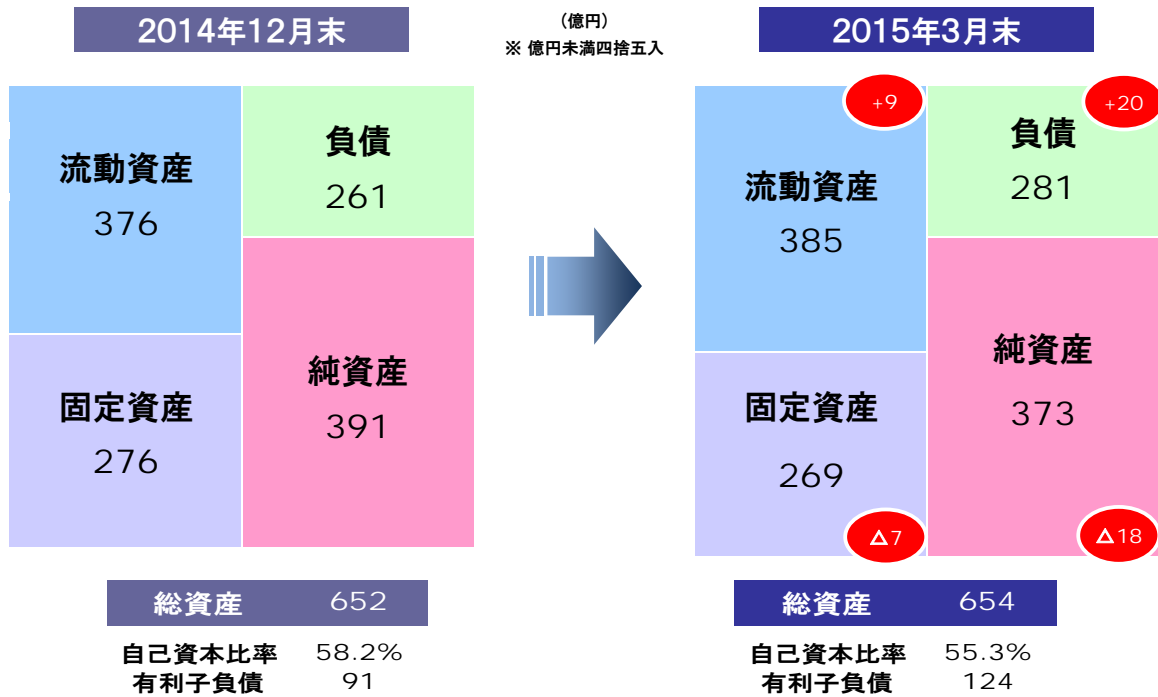
※ 億円未満四捨五入、±0.5億円未満はゼロ表示

営業利益増減要因

「ゼクシオ エイト」2年目と円安による影響で減益



有利子負債が33億円増加、自己資本比率は2.9P低下



スポーツといっしょに生きる

ダンロップスポーツ